



石橋 達八 議員
(無会派)

一括質問方式

防災力の強化と 消防団の 処遇改善は

問.....

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」は、消防団を「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」として位置付け、消防団員の退職報奨金は引き上げがされた。地方自治体には、報酬など処遇改善や訓練支援などの責務を課しているが、今後消防団員の処

遇改善にどう対応するか。

答.....

災害警戒活動や、捜索活動の安全確保のため、3年計画で雨合羽の貸与を始めた。また、女性の消防団員の必要性から消防職員を募集しているが、昨年度は応募がなかった。報酬等処遇改善は、今後の課題である。

携帯できるカードの 配布を求めたいがどうか

問.....

支援を受けたいと要望する方や、子どもたちにも常時携帯できるカードの配布を求めたいがどうか。

答.....
高齢者や災害弱者の

答.....

地区センターやふれあいホームの関係者、地域関係者と連携を取りながら、情報を把握共有し、地域住民が支え合いながら、高齢者が読み書きに困らない支援体制を検討したい。

問.....

高齢化社会の進展に伴い、読み書き支援の必要性が求められている。当市では、代読、代筆支援体制は必要ないか。

ジュニアスポーツの 振興策は

問.....

ソチオリンピックでは、逆境を乗り越え限界に挑む輝き、家族のきずなや地域のサポート、指導者の重要性、メダルは取れなくても人間勝者としての輝きなど、生きた教材であった。ジュニアスポーツ振興のために、就学前から小中学校時代が重要と感じた。教育行政方針では、

教育環境の充実が述べられたが。

答.....

スポーツ少年団の東北大会、全国大会の参加も増えている。これも指導者の力によるものである。指導力向上のため、研修開催、資格取得のための講習受講の助成、トップアスリートの招へいも行っている。さらに、大きな舞台で活躍できるように、スポーツ振興を推進する。



防災訓練でのひとコマ

集団的自衛権に 対する 市長の見解は

問.....

安倍政権は、これまでの政府の憲法解釈を大きく変え、集団的自衛権の行使を可能とする解釈改憲を公然と表明するなど、海外で戦争のできる国へと変質させようとしている。戦前戦中を体験してきた市民の中からも戦前回想を語る、安倍政権への懸念が高まっている。

答.....

過去の悲惨な戦争の教訓から、日本国憲法において、世界人類の平和と共存を願う戦争放棄をうたい、国際社会の中でも平和国家としての信頼を得てきた歴史がある。集団的自衛権の問題については、日本の将来を左右する重大な案件であり、慎重な審議が求められる。



小松 大成 議員
(無会派)

一括質問方式

乳児・小中学生医療費 給付事業の拡充の考えは

問.....

市長は「子育てするなら遠野市で」をキャッチフレーズとしてさまざまな施策を展開している事は評価できる。しかし、かつては乳幼児への医療費助成制度が目玉された遠野市ではあったが、中学生までの医療費全額助成自治体が珍しく無くなった今日では更なる拡充が望まれる。

答.....

子育て世代の医療費の経済負担は、切実な問題である。乳幼児・小中学生医療費給付事業の拡大については「とおのわらすっこプラン」の中で総合的に判断する。

商店街の新たな 振興策は

問.....

遠野市は「快適スマイル応援事業」として個人住宅リフォームに



熱心にひなまんじゅう作りをする子どもたち

答.....

中心市街地活性化のため、これまでの商店街振興策にさまざまな検討を加え、全面的見直しを図り再構築する。